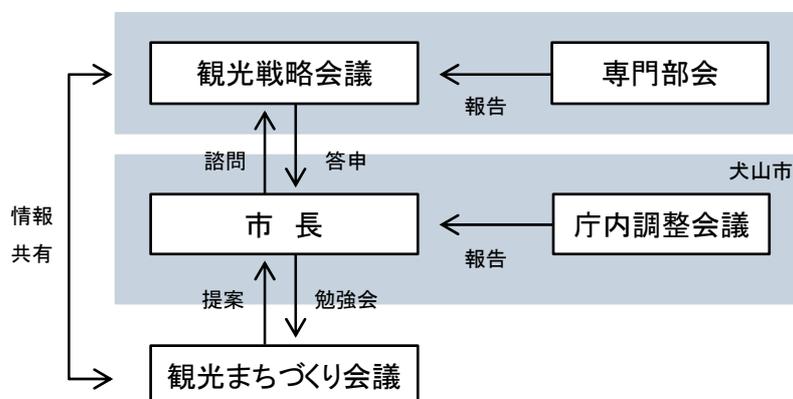


## 観光まちづくり会議 開催結果概要

## 【観光まちづくり会議の位置付け】

- ① 事業者、市民、まちづくり団体など観光に関わる方が集い、「地域の課題」や「これからの犬山観光のあるべき形」を共に考え、共有し、前向きな改善の為の実践までを目指す「場」。
- ② 城下町だけでなく犬山市全体の観光を考え、現場の生の声をお聞きして、令和2年度策定予定の「犬山市観光戦略」に活かす。

## 【観光戦略会議と観光まちづくり会議の関係】



## &lt;第1回&gt;

- 開催日時 令和元年8月24日(土) 19:00~21:00
- 場所 犬山市役所 205 会議室
- 参加者数 42名
- テーマ 「犬山の観光について語ろう」
- 意見交換① 「犬山市の魅力・観光資源とは」
- 意見交換② 「犬山市の観光に関する課題」

## &lt;第2回&gt;

- 開催日時 令和元年10月5日(土) 19:00~21:00
- 場所 犬山市役所 201-203 会議室
- 参加者数 19名
- テーマ 「城下町地区の課題」
- 意見交換① 「深掘りしたい課題を選ぶ」
- 意見交換② 「解決/改善のためのアイデア(提案)を考える」

<第3回>

- 開催日時 令和元年11月16日(土) 19:00~21:10
- 場所 犬山市役所205会議室
- 参加者数 23名
- テーマ 「観光を市内全域に広げるには？」
- 意見交換 「城下町(本町通り)以外へ誘導するアイデア(提案)を考える」

<第4回>

- 開催日時 令和元年12月7日(土) 19:00~21:20
- 場所 犬山市役所205会議室
- 参加者数 22名
- テーマ 「城下町地区の課題 その2」
- 意見交換 「城下町地区の課題を改善するアイデア(提案)を考えよう」

<分科会1>

- 開催日時 令和2年2月19日(水) 19:00~21:10
- 場所 犬山市役所205会議室
- 参加者数 16名
- テーマ 「城下町地区の商業組合を作るには?勉強会」
- 意見交換(フリートーク)  
「城下町地区の事業者どうし、もっと繋がりが深まる(仲良くなる)にはどうしたらいいか?を考えよう!」

<分科会2>

- 開催日時 令和2年2月22日(土) 19:00~21:15
- 場所 犬山市役所205会議室
- 参加者数 22名
- テーマ 「城下町住民同士での対話」
- 意見交換① 「歩行者優先道路に関する意見交換」
- 意見交換② 「これからの城下町をどうしたいか」

かわら版（第1号！）

# 観光まちづくり会議（第1回）

第1回テーマ：「犬山の観光について語ろう」

日時：8月24日（土）19:00～21:10

場所：市役所205会議室

発行日：令和元年9月2日（第1号）



## はじめに

■8月24日（土）、第1回「観光まちづくり会議」を開催しました。参加者は、市民の皆さん、観光関連事業者、まちづくり団体の皆さん、職員、事務局スタッフを含めた計50名でした。

■このまちづくり会議(通称：「まち会」と呼びます！)は、業者の方、地域住民の方、まちづくり団体の方々など、観光に関わる方が集い、「地域の課題」や「これからの犬山観光のあるべき姿」を共に考え、共有し、前向きな改善の為の「実践」までを目指す「場」と位置付けています！

■城下町だけでなく犬山市全体の観光を考えていきます。現場の生の声をお聞きして、来年度策定予定の「犬山市観光戦略」に活かしていきます。



■今回はその第1回として、ワークショップ形式で意見交換をしました。

テーマは2つ。

- ①「犬山市の魅力・観光資源を考えよう」
- ②「犬山市の観光に関する課題を考えよう」です。

■ワークショップでは、6つのテーブルに分かれ、多くの意見が出されました。

会議の最後には、各テーブルごとに発表し全体で共有。犬山市の「良いところ（魅力や資源）」と「課題」を共有することが出来、とても有意義で活発な場となりました。

## プログラム

- 開会あいさつ
- グループ分け
- 自己紹介
- 意見交換①  
「犬山市の魅力・観光資源とは」
- 意見交換②  
「犬山市の観光に関する課題」
- 本日のまとめ
- 閉会あいさつ

## ワークショップの様子

■初対面の人も多い中でしたが、わがまち犬山のことを語り合ううちに、徐々に打ち解け、積極的に意見交換する場面が多く見られました。

■参加者は付せんに、犬山市の「魅力」や「課題」を自由に書き出しました。その後、グループ内で一人ずつ意見を発表しながら、模造紙に意見の書かれた付せんをグルーピングし、取りまとめました。



## 発表

■グループ内での意見交換の後、各テーブルで話し合った内容を参加者全体で共有しました。発表された意見の一部を紹介します。



### 意見交換① 犬山市の魅力・観光資源

■犬山城、城下町、木曾川、歴史、祭り、入鹿池、栗栖などの里山、自然、テーマパーク（明治村など）等、多様な意見が出されました。景色、風景の良さも多く挙げられました。



### おわりに

■今後のスケジュールを発表しました！

- **第2回：10月5日（土）19：00～**  
**場所：市役所201会議室**
- 第3回：11月16日（土）
- 第4回：12月7日（土）
- 第5回：年明け（未定）

■第2回のテーマは今回、多数の意見を頂いた「**城下町地区の課題**」を取りあげます。観光客増加に伴う住民生活への影響をふまえ、持続可能な観光地として発展する方策を、皆さんと楽しく真剣に考えていきたいと思ひます。

### 意見交換② 犬山市の観光に関する課題

■城下町には様々な課題が

観光客が増加する一方で、観光客の食べ歩きによるゴミのポイ捨てや私有地への立ち入りなど観光客のマナーに関する課題、駐車場不足や渋滞の発生などの交通問題、観光客が多く住民が車を出せない・戻れない、生活への支障など、観光客と住民との共生が課題として挙げられました。

また休憩場所やトイレの整備などの受け入れ環境整備の課題、景観の不統一、事業者同士のつながりが少ないなど、様々な課題が出されました。

■城下町エリア以外への誘導

観光客が城下町などの一部地域に集中し、市全体に拡がりがない。自然、木曾川、各地のテーマパークなど、魅力的な資源を十分に活かしていない。市内の周遊がしづらい、などの課題が出されました。

■魅力を高め消費を高める必要性

特産品や名物を求める声、レストランの少なさなど新たな魅力を高めるべき、などの意見がありました。

滞在時間の延長、夜の魅力向上、宿泊の課題（犬山ホテル含む）を提起する声もありました。地域経済を活性化させるため、観光消費を高める取組みが必要とされました。

■発行・連絡先

犬山市観光交流課（担当：小池）

TEL：0568-44-0342

MAIL：[040500@city.inuyama.lg.jp](mailto:040500@city.inuyama.lg.jp)

# 観光まちづくり会議（第2回）

第2回テーマ：「城下町地区の課題」

日時：10月5日（土）19:00～21:10  
場所：市役所201-203会議室  
発行日：令和元年11月15日（第2号）



## はじめに

- 8月に開催した「観光まちづくり会議」（通称：「まち会」と呼んでいます！）に引き続き、第2回を10月5日に開催しました。
- 今回は、第1回のまちづくり会議で特に多くの方から関心を持っていただいた、「城下町地区が抱える様々な問題点」について、じっくりと話し合いをすることを目的に開催しました。
- 参加者は、市民の皆さん、観光関連事業者、まちづくり団体の皆さん、職員、事務局スタッフを含めた計30名でした。
- 今回もワークショップ形式で意見交換をしました。テーマは2つ。  
①「深掘りしたい課題を選ぶ」  
②「解決/改善のためのアイデア（提案）を考える」です。
- 4つのテーブルに分かれ、各自が感じている城下町の課題を出し合い、皆さんで意見交換をし、テーブルの代表課題3つを選出しました。その後、その3つの課題について、改善/解決の方法を自由に意見出しをしてもらいました。



■ このまちづくり会議は、業者の方、地域住民の方、まちづくり団体の方々など、観光に関わる方が集い、「地域の課題」や「これからの犬山観光のあるべき姿」を共に考え、共有し、前向きな改善の為の「実践」までを目指す「場」と位置付けています！

## プログラム

- 開会あいさつ
- 前回（第1回）の振り返り
- グループ分け ● 自己紹介
- 意見交換①  
「深掘りしたい課題を選ぶ」
- 意見交換②  
「解決/改善のためのアイデア（提案）を考える」
- 本日のまとめ
- 閉会あいさつ

## ワークショップの様子

- 前回に引き続き参加された方、今回初めての参加の方がいらっしゃいましたが、「城下町の課題を少しでも改善したい」という共通の思いをお持ちの方同士という事もあり、積極的に意見交換をしていただきました。
- 意見交換①では、シートに課題とその理由、意見交換②では、付せんに、課題の解決/改善のためのアイデアを自由に書いてもらいました。実にユニークな意見も出されましたので、その一部を紹介します。



▲ワークショップの様子。  
各テーブル5～6名に分かれ、城下町の課題、これからの解決のためのアイデアを語りあいました。

## 発表

- グループ内での意見交換の後、各テーブルで話し合った内容を参加者全体で共有しました。発表された意見の一部を紹介します。



### 意見交換① 深掘りしたい課題を選ぶ

- A～Dのテーブルでは下記の課題が選出

- ◆ 城下町らしさ (A) ・ 城下町の景観 (B)
- ◆ ゴミ問題 (A・C) 、  
商業者と住民の共存 (B・C)
- ◆ 整備、まちづくり・ハード整備 (A・B)
- ◆ 消費コンテンツが少ない (B) 、  
経済効果 (D) 、  
新しい時代の犬山観光 (C)

これらの意見を分類すると、歴史的な景観を「保全する」視点、「観光客増に伴い発生する問題を改善する」視点、よりよい環境づくりのための「受入れ環境整備」の視点、犬山観光の「持続的な発展」を見据えた視点など、様々な視点での意見がありました。

### おわりに

- 今後のスケジュールを発表しました！

➢ 第3回：11月16日（土）19:00～  
場所：市役所205会議室

➢ 第4回：12月7日（土）

➢ 第5回：年明け（未定）

■ 第3回のテーマは、第1回でも多くの関心をいただいた、「観光を市域全体に広げるには？」を取りあげます。犬山城・城下町を中心に増える観光客を、市内全域にも周遊してもらうための方策を、皆さんと楽しく真剣に考えていきたいと思えます。

### ■ 発行・連絡先

犬山市観光交流課（担当：小池）

TEL：0568-44-0342

MAIL：[040500@city.inuyama.lg.jp](mailto:040500@city.inuyama.lg.jp)

### 意見交換② 解決/改善のためのアイデア（提案）を考える（主な意見の一例）

#### ■ 城下町らしさを守る

- 店舗や住民が街の雰囲気づくりに配慮する
- 城下町再生のために住民、関係者、みんな  
で考える機会を設ける
- 町屋の保全
- 景観に関して事業者と話し合う
- 若者が住みやすい環境で活発化

#### ■ ゴミ問題・住民と事業者と観光客の共存

- ゴミ問題等に対応するため、組合等の事業者組織をつくる
- 事業者と住民がコミュニケーションできる  
場を設けて、共存していく
- 私有地だとわかる表示をする
- 電柱の地中化の際に町中で検討されていた  
ものに立ち返る
- 観光客のマナーへの対応とルール、仕組み  
づくり（ゴミ捨て、歩きたばこ、車の通行、  
民地への進入等）
- 本町に集中しすぎている観光客の分散化

#### ■ 受入環境整備の促進

- 安全な歩道の整備、トイレの整備、外国語  
に対応した多言語案内の対応
- 宿泊方法の多様性を
- 街を回る順番の工夫で、客の流れを整える

#### ■ 経済効果を生み出す仕組みづくり

- 消費を促すお土産物について、みんなで開  
発できる仕組みづくり（助成金での支援、  
ワークショップでの考える場など）
- 犬山ならではの観光資源を活用した体験プ  
ログラムの充実（農業の観光資源化等）
- 夜も食事が出来る場所の提供や、城下町全  
体でイベントの開催
- 起業したい方を支援し事業者が集まる街に

# 観光まちづくり会議（第3回）

第3回テーマ：「観光を市内全域に広げるには？」

日時：11月16日（土）19:00～21:10

場所：市役所205会議室

発行日：令和元年12月7日（第3号）



## はじめに

■ 10月に開いた「観光まちづくり会議」（通称：「まち会」と呼んでいます！）に引き続き、第3回まち会を11月16日（土）に開催しました。

■ 今回は、第1回のまち会で、皆さんと課題共有した、「城下町エリア以外への観光客の誘導」について、課題を改善する方策について話し合いをすることを目的に開催しました。

■ 参加者は、市民の皆さん、観光関連事業者、まちづくり団体の皆さん、職員、事務局スタッフを含めた計32名でした。

■ 今回もワークショップ形式で意見交換をしました。テーマは「城下町（本町通り）以外へ誘導するアイデア（提案）を考える」の1つです。

■ 4つのテーブルに分かれ、各自が考えるアイデアを出し合い、その内容について皆さんで意見交換（対話）しました。



■ このまち会は、業者の方、地域住民の方、まちづくり団体の方々など、観光に関わる方が集い、「地域の課題」や「これからの犬山観光のあるべき姿」を共に考え、共有し、前向きな改善の為に「実践」までを目指す「場」と位置付けています！

## プログラム

- 開会あいさつ
- これまでの（第1回を中心に）の振り返り
- グループ分け ● 自己紹介
- 意見交換  
「城下町（本町通り）以外へ誘導するアイデア（提案）を考える」
- 本日のまとめ
- 閉会あいさつ

## ワークショップの様子

■ 第1回から連続して参加、今回が初めての方、そしてお住まいの地域も様々な方に集まっていただきました。対話の中で、犬山市全域には本当に多くの魅力が溢れていることを共有した上で、「城下町以外への誘導」に関し積極的な意見が出されました。

■ 具体的には、第1回で出された「犬山市の課題」を踏まえ、「どうしたら本町通りから市域全体へ観光客を誘導できるか」についてアイデア(提案)を自由に考え、意見交換をしました。その一部を紹介します。



## 発表

- グループ内での意見交換の後、各テーブルで話し合った内容を参加者全体で共有しました。発表された意見の一部を紹介します。



## 意見交換 城下町（本町通り）以外へ誘導するアイデアを考える

各グループの主な提案(まとめ)です！

### ■Aグループ

- ・移動手段の確保
- ・案内マップの充実
- ・テーマ別観光の充実
- ・スタンプラリー活用
- ・犬山を知る・学ぶ仕組みづくり

等

### ■Bグループ

- ・マーケティングによる施策の打ち出し
- ・分散化の方策検討
- ・移動しやすさの工夫
- ・具体的なコンテンツの磨き上げ・充実

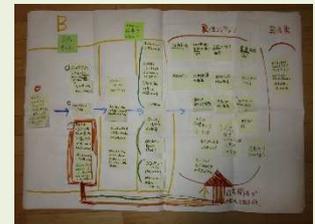
等

### ■Cグループ

- ・地域資源の見直し活用（自然景観、俳句文化）
- ・移動手段の充実（自転車、バス、タクシー）
- ・体験メニューの充実
- ・地元住民との対話と連携 等

### ■Dグループ

- ・城下町以外を案内できる人材の確保
- ・移動手段の充実
- ・地域資源の活用
- ・歴史文化の活用（茶会・俳句大会） 等



全体としての意見・提案のまとめです(内容別)

### ■移動しやすい環境整備

二次交通（バス、タクシー、サイクリング等）の整備／移動しやすい道路等のハード整備／案内マップの充実 等

### ■資源の活用・磨き上げ

自然景観・歴史・文化（俳句・茶会など）の魅力的な資源の活用・磨き上げ／体験プログラム創出・活用(市内各地で実施)

### ■巡りたくなる仕掛け

スタンプラリーの実施(観光名所間で実施、駅で実施)／歩いて回ることができる環境づくり／周遊の促進(寺社めぐり、ため池ツアー(入鹿池等)、自然景観の観光)／ 等

### ■認知度の向上

対外的PR／市民が知り発信してもらう仕掛け（体験、学びの場等）／案内できる人材の育成 等

### ■マーケティング・分析

来訪客の動向把握 等

### ■対話と協力体制構築

住民と行政・事業者が対話し理解を得る仕組み等

## おわりに

- 今後のスケジュールを発表しました！

➤第4回：12月7日（土）19:00～

場所：市役所205会議室

➤第5回：年明け（未定）

■第4回のテーマは、第2回で取り上げた「**城下町地区の課題**」について、再び取り上げます。観光客の増加に伴う住民生活への影響をふまえ、持続可能な観光地として発展する方策を、皆さんと楽しく真剣に対話していきたいと思っております！

### ■発行・連絡先

犬山市観光交流課（担当：小池）

TEL：0568-44-0342

MAIL：[040500@city.inuyama.lg.jp](mailto:040500@city.inuyama.lg.jp)

## 観光まちづくり会議（第4回）

第4回テーマ：「城下町地区の課題を改善するアイデア（提案）を考えよう」

日時：12月7日（土）19:00～21:10

場所：市役所205会議室

発行日：令和2年1月27日（第4号）



### はじめに

■ 11月に開催した「観光まちづくり会議」（通称：「まち会」と呼んでいます！）に引き続き、第4回まち会を12月7日（土）に開催しました。

■ 今回は、第2回のまちづくり会議で、特出ししてお話しをした「城下町地区の課題」について、特に意見の多かったものの一つである「住民、観光客、事業者の共存」をテーマに、課題を改善するアイデアを考えました。

■ 参加者は、市民の皆さん、観光関連事業者、まちづくり団体の皆さん、職員、事務局スタッフを含めた計27名でした。

■ 今回もワークショップ形式で会を進めました。4つのテーブルに分かれ、各自が考えるアイデアを出し合い、参加者どうしで対話しました。



■ このまちづくり会議は、事業者の方、地域住民の方、まちづくり団体の方々など、観光に関わる方が集い、「地域の課題」や「これからの犬山観光のあるべき姿」を共に考え、共有し、前向きな改善の為の「実践」までを目指す「場」と位置付けています！

### プログラム

- 開会あいさつ
- これまでの（第1回、第2回）の振り返り
- グループ分け ● 自己紹介
- 意見交換  
「城下町地区の課題を改善するアイデア（提案）を考えよう」  
①わたし自身ができること、してみたいこと  
②わたし以外の方と一緒にしたいこと、お願いしたい事、期待すること
- 本日のまとめ
- 閉会あいさつ

### ワークショップの様子

■ 第1回から第4回まで全ての回に参加していただいている方から、今回初めての参加の方まで、またお住まい、立場が様々な皆様にご参加いただきましたが、皆さん「城下町を良くしたい」という思いは共通です。活発な「対話」がなされました。



## 発表

- グループ内での意見交換の後、各テーブルで話し合った内容を参加者全体で共有しました。発表された意見の一部を紹介します。



## 意見交換 解決/改善のためのアイデア（提案）を考える

今回は課題改善のため「自分自身ができること、したいこと」を考えました。それぞれの立場で考え、意見を出し合うことで、城下町の課題を身近に捉えるきっかけになっていたら、とても嬉しいです。

また「自分以外の方と一緒にしたいこと、期待すること」も考えました。それぞれの立場でできること、期待されていることが、ほんの少しずつですが、表れつつあります。

出された意見・提案のうち、できることから少しずつ「実践」することが、持続可能で魅力的なまちになると考えます！対話と実践の場はこれからも設けます。共に未来を創りましょう！

### 【主な意見】

	住民	事業者	行政	観光客
自分自身ができること、してみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○案内（ガイド）・おもてなし・あいさつ</li> <li>○組織・関わりをもつ・交流する</li> <li>○子供達に城下町の良さを伝える</li> <li>○安全運転、まちづくりの呼びかけ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流・盛り上げ</li> <li>○ゴミ拾い・ゴミ管理</li> <li>○客の声を届ける</li> <li>○案内・PRをする</li> <li>○マーケティング</li> <li>○定着（居住、納税）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光の計画を立てる</li> <li>○コミュニケーション・話合いの場づくり</li> <li>○受入環境整備（看板など）</li> <li>○質的な向上（ガードマンの指導）</li> </ul>	
一緒にしたいこと、お願いしたい事、期待すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○啓発（安全運転、気軽に来店する）</li> <li>○ゴミ回収への協力</li> <li>○コミュニティに参加する・仕組みをつくる（町内会等） 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールづくり</li> <li>○事業者同士の対話</li> <li>○組織・体制の構築（商店組合等）</li> <li>○ゴミ問題への対応 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴミ問題対応（ゴミ箱設置、清掃等）</li> <li>○多言語観光案内</li> <li>○城下町らしさの維持</li> <li>○歩行者・自動車ゾーンの区分</li> <li>○防災対策</li> <li>○条例・規制・ガイドライン 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マナーアップ（ゴミの持ち帰り、歩行マナー等）等</li> </ul>

## おわりに

- 次回の予定です。まち会第5回は下記の分科会として対象を分けて実施します。事業者さん、住民のみなさんでそれぞれの課題をとらえ、対話の場を設けます。ぜひご参加を！

<分科会1>：  
城下町地区の商業組合を作るには？勉強会

日時：令和2年2月19日(水) 19時～  
場所：犬山市役所205会議室  
対象：事業者のみなさん、関心のある方

<分科会2>：城下町住民同士での対話

- ①歩行者優先道路に関する意見交換
- ②これからの城下町について

日時：令和2年2月22日(土) 19時～  
場所：犬山市役所205会議室  
対象：住民のみなさん、関心のある方

- 発行/連絡先：観光交流課（小池） TEL：0568-44-0342 MAIL：[040500@city.inuyama.lg.jp](mailto:040500@city.inuyama.lg.jp)

## 観光まちづくり会議（分科会1）

テーマ：「城下町地区の商業組合を作るには？勉強会」

日時：2月19日（水）19:00～21:10

場所：市役所205会議室

発行日：令和2年3月16日（第5号）



### はじめに

■今年度から始まった「観光まちづくり会議」（通称「まち会」）はこれまで計4回開催。今回は「分科会1」というかたちで、2月19日（水）に行いました。

参加者は観光関連の事業者、まちづくり団体、市職員、事務局スタッフを含めた計23名。参加してくださった皆さん、ありがとうございました！

※分科会は「1」と「2」に分けて開催しています。

＜分科会1：2月19日（水）＞

城下町地区の商業組合を作るには？勉強会（事業者の方、関心のある方向け）

＜分科会2：2月22日（土）＞

城下町住民同士での対話

①歩行者優先道路に関する意見交換

②これからの城下町について

（住民の方、関心のある方向け）

■これまでの計4回のまち会で、多くの課題があがり、共有されました。

今後は、事業者の皆さん、住民の方々がそれぞれの課題を捉え、改善のために対話・実践を目指す必要があると考え、分科会というかたちでの開催となりました。

■分科会1の参加対象は、主に城下町で事業をされている皆さん。これまでのまち会で、課題改善のため、将来も犬山観光が発展して持続するためには「事業者同士のつながり、対話、交流が必要」との声がありました。

■そのためには商業組合のようなものを形成することが必要、という提案があり、今回のテーマとしました。ただ「組織づくり」といってもなんだか難しい・・・そこで、まずは「お互い（事業者同士）が交流するには？」を考え、語り合いました。

### プログラム

- 開会/あいさつ/趣旨説明
- 犬山観光の現状と課題について
- まち会 これまでの振り返り
- 意見交換（フリートーク）  
「城下町地区の事業者どうし、もっと繋がりが深まる（仲良くなる）にはどうしたらいいか？を考えよう！」
- 本日のまとめ
- 閉会あいさつ

### 意見交換の様子

■参加者全員で1つのテーブルを囲み、お互いが交流しながら対話し、意見交換しました。

■この「まち会」そのものが、お互いを知る交流の場。普段は同じまちで事業をしても、話す機会は限られているとのこと。隣の人同士で自己紹介をするなど、ほんのちょっとですが交流のきっかけとなりました。



## 意見交換 城下町地区の事業者どうし、もっと繋がりを深めるにはどうしたらいい？

課題改善のため、将来の組合形成に向けて「城下町の事業者同士が繋がりを深めるには？」について、参加者同士で語り合い、対話しました。



### 【主な意見】

情報	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日々のコミュニケーションが必要</li><li>● 情報共有、紹介をして相互に知る</li><li>● 回覧・掲示板、匿名でアイデアや改善点を共有する</li><li>● 資料や、地元の人を知る情報で、他己紹介をする</li><li>● エンタメ感を醸成し、人の温かさを演出する</li><li>● オンラインでつながる（LINEグループによるコミュニケーション等）</li><li>● 事業者の情報を発信・共有できるものを用意する</li><li>● 店舗紹介文・セールス文を一覧にして共有する（メッセージカード集） 等</li></ul>
集まる場	<ul style="list-style-type: none"><li>● 勉強会を開催する</li><li>● 町内会で会議</li><li>● ざっくばらんな意見交換の場を設ける</li><li>● 継続させるために（マンネリ化を防ぐ）ゲストを招きつつ、月例会を実施する</li><li>● 若い人を集め、ネットワークを拡大していく</li></ul>
協働	<ul style="list-style-type: none"><li>● 皆で取り組むものをつくる</li><li>● 共同の集客イベント、協働での清掃活動</li><li>● バリアフリーマップをつくる</li><li>● 「いいまち感・素敵感」の醸成</li><li>● 業種業態を超えた取り組み</li><li>● 運営管理の経験を蓄積</li><li>● 共通クーポンの導入</li><li>● 住民へのおもてなしDay</li><li>● 犬山マルシェやチャリティ活動で一体化</li></ul>
組織	<ul style="list-style-type: none"><li>● 各店舗の得意なものを、物々交換・紹介し合える場</li><li>● 核となる団体・個人の存在</li><li>● 愛着の醸成・コミュニティづくり</li><li>● 組合長を作らない組合の組成</li><li>● 近所付き合いの輪を広げていくイメージ</li><li>● ルールづくり（申キングに応募する事業者に、ごみ箱設置を義務付ける） 等</li></ul>

あっという間の2時間でした。それくらい活発な対話・意見交換がありました。「課題改善のためには事業者同士の交流がますます必要である」と、参加者の皆さんと共有することができました。そして意見交換の結果、まずは「**小さなことでも出来ることから始めよう**」となり、提案のひとつであるLINEを使ったコミュニケーションなど、今後も検討していくこととしました。

こうした対話の場を継続して設け、実践につなげることが大切と考えます。参加者の輪を少しずつ広げ、持続可能な観光まちづくりを進めていきましょう。

### おわりに

■今年度のまち会は、分科会1・2を経て終了です。次年度の開催については、後日お知らせします。引き続き、まち会を通じて参加者同士の対話を続けていきます。共に未来の犬山観光を創り上げましょう！

■発行/連絡先：観光交流課（小池） TEL：0568-44-0342 MAIL：[040500@city.inuyama.lg.jp](mailto:040500@city.inuyama.lg.jp)

## ■観光まちづくり会議(分科会 2)について (ご報告)

- 日 時：令和2年2月22日(土) 19時～21時10分
- 場 所：犬山市役所 205 会議室
- 参加者数：22名(住民の皆さん、まちづくり団体、市職員など)
- テーマ：城下町地区住民同士の対話
  - ①歩行者優先道路に関する意見交換
  - ②これからの城下町について(城下町をどうしたいかについて)

### <はじめに>

今年度から始まった観光まちづくり会議(通称「まち会」)。計4回の会を経て、2/19(水)には事業者さんを対象とした「分科会1」を、2/22(土)には、主に住民の方を対象として「分科会2」を開催しました。

この「分科会2」の対象は、主に城下町地区に住む方です。これまでのまち会では、城下町の課題が多く出されました。今後は、事業者の皆さん、住民の皆さんが、それぞれの課題を捉え、改善のため対話を進める必要があると考え、分科会という形としました。

特に住民の皆さんにとって、この城下町が「これからどうありたいのか」「どうあるべきなのか」を語り合う場と機会が必要ではないかと考え、開催しました。

### <分科会の内容は2点です>

#### ①犬山キャンペーンに合わせた「歩行者優先道路に関する意見交換」

- ◆春秋のキャンペーンに合わせて実施している本町通の歩行者優先道路に関し、今春からの実施内容等を市から説明しました。

#### ○今年度の対応状況

- ・啓発看板類の設置
- ・通行許可証をわかりやすいものに変更(レイアウト、色の変更)
- ・警備員の巡回(住居への立ち入り注意など)

#### ○今春からの対応(及び検討)内容

- ・イケメン武将隊に注意喚起を依頼(住居への立ち入りに対する注意など)。
- ・カーナビで本町通を選択しない方法を研究する。
- ・チラシ・パンフレット等に本町通が混雑している旨を表記し注意喚起する。

- ◆その他、今後の歩行者優先道路継続の是非(実施する意義等も含め)について提起しました。土曜日も多くの人を訪れる状況では「賑わい創出」という観点で日曜の4時間だけ歩行者優先道路にする意義が薄れていることなどからです(他には安全対策という観点があります)。また、福祉会館の駐車場が取壊しにより秋のキャンペーン以降使用出来なくなるため、住民用の代替え駐車場の場所を検討している旨も報告しました。

## ②これからの城下町について（どうしたいかについて）

多くの課題がある城下町。改善のために、持続可能な観光地として維持・発展していくためにはどうしたらいいか。このまちは「どうあるべきか」を語り合いました。

### <全体を通じて：参加者の主な意見等>

- ・歩行者優先道路に限らず、土日は観光客が多くすごく大変。出入りができない。
- ・最近土日以外も多くの客が来る。車を出すと観光客にぶつかりそうになる。
- ・もう歩行者優先道路はやめてほしい。
- ・車が入ってきた方が道路として認識されるので歩行者優先道路はやめてもよいのでは。
- ・歩行者優先道路をやるなら新道からなつかしや前のT字路も含み規制をかけるべき。
- ・住民は我慢しているだけで還元されることもなく、良いことがない。
- ・どうせ変わらないと考えこうした会議に出ない人も多い。住民に「あきらめ感」がある。
- ・本町通りに入る一方通行がわかりづらい。いまだに逆走していく車がある。
- ・車と歩行者の関係、和む方法を考えてはどうか（観光警備隊など）。
- ・人が増えている。ほかっておくと、この先事故が起こるだろう。市としてどうとらえるのか、また住民としても考えなければいけない。
- ・お客は来なくてもいい。住む人を増やすことが大切ではないか。
- ・昔は住民にも伝建を目指そうという気運があり、街並みを守るという意識があった。このまちなをこれからどうしたいかを考えるべき。
- ・城下町のまちづくりをどう考えるか。行政の基本的な方向性を示すべき。
- ・本町周辺は疲弊している。今後どんどん空き家が出てくる。人がいなくなるのでは。
- ・魚屋町通りは地中化したけど閑古鳥が鳴いている。魅力がないから？人も減っている。本町だけに集中しており、もっと広がりがあるといい。嫌だと思ふ人もいるかもしれないが。
- ・店舗と住民の繋がりが全くない。町内規約改定も必要。
- ・住民同士のつながりが必要。もっと交流できるとよい。
- ・住民の意見をきちんと聞く体制づくりが必要。
- ・城下町は人が減り続けている。祭の継続も厳しくなる。「定住」を考えていかなければ。
- ・坂下に住んでいるが、逆走の車も多い。住民との共存を考えていく必要がある。

### <最後に> 下記内容を会の最後に共有しました。

観光客は年々増加しています。多くの人を訪れることは嬉しい一方で、地域住民の生活への影響が顕在化しています。毎日の暮らしに不便が生じている状況です。

この犬山城下町が持続して発展するためには、どうしたらいいのでしょうか。一つは、住民の皆さん同士も対話を重ねて、「このまちはどうあるべきか」「どうありたいか」を見つけていくことも大切なのではないかと思います。

今回、分科会2という形で少しだけ対話（意見交換を）することができました。

答えは決まっていますが、対話を続けることで「未来の在り方」を模索することができると考えています。次年度も引き続き、こうした場と機会を設けていきたいと思っています。